

彙報

昭和六十年三月から昭和六十一年十二月までの東京大学百年史編集室の事業の概要は次のとおりである。

〈資料収集〉

○学内資料の調査・収集

- ・昭和60年8月、農学部および工学部にて旧工学部美術学校旧蔵資料（主として彫塑）所在調査
- ・昭和60年10月、経理・予算第一掛作成「東京大学概要」調査。
- ・昭和61年10・12月、教養学部アメリカ研究資料センター見学、高木八尺旧蔵東大関係史料調査。

○学外資料の調査

- ・昭和60年11月20日、内藤初穂氏来室、平賀謙文書について。
- ・昭和60年10月、形成社中城民夫氏来室、池田謙斎書翰等について。
- ・昭和61年3月、国立公文書館所蔵岩倉具視関係文書（内閣文庫）調査。
- ・61年3月文部省図書調査。全国大学一覧および昭和24年新制大学第1回募集要項について。

- ・昭和61年7月、辻新次文書の調査開始。
- ・昭和61年7月、8月、10月、田代基徳遺族調査。
- ・昭和61年7月、国立公文書館所蔵東京大学関係資料補足調査開始。

○聴取り調査

- ・昭和60年4月、大阪で元学生部長加藤橋夫名誉教授より聴取り。
- ・昭和61年9月26日、藤田清次氏より『東京帝国大学学術大観』につき聴取り。

○諸展示会の見学

- ・昭和60年12月、国立公文書館「貴重図書展示会」見学。
- ・昭和61年6月、国立公文書館内閣文庫展示会「古書に見る植物・動物たちの江戸時代」見学。
- ・昭和61年10月、経団連図書館「社史・経済団体史展」見学。

- ・昭和61年11月、国立公文書館「天皇陛下御在位六十年記念貴重公文書展」見学。
- ・昭和61年11月、史料編纂所展示会見学。
- ・昭和61年11月、埼玉県立文書館「八王子城主北条氏照文書展」見学。
- ・昭和61年11月、東京都貿易産業センター「文書

情報処理システム展」見学。

○諸文書館等の見学

- ・昭和60年5月、横浜開港資料館見学。
- ・昭和60年7月、兵庫県公館見学。
- ・昭和60年12月、国文学研究資料館史料館見学。
- ・昭和61年3月、神奈川県立文化資料館見学。
- ・昭和61年5月、国立歴史民俗博物館見学。
- ・昭和61年6月、群馬県立文書館見学。
- ・昭和61年8月、国立公文書館、大阪府公文書館、埼玉県立文書館、栃木県立文書館、東京都公文書館見学。

○資料の寄贈等

- ・昭和60年6月、理学部藤井隆名誉教授より紛争関係文書の寄託。
- ・昭和60年7月、元総長加藤一郎名誉教授の文書第二次分寄託。
- ・昭和60年10月、図書館専門委員矢島秀夫氏所蔵紛争関係ビラ五箱を薬学部より大講堂内へ搬入。
- ・昭和60年12月27日、国会図書館憲政資料室より小橋一太筆記講義ノート寄託。
- ・昭和61年1月10日、黒川直頼遺族黒川淳子氏訪問、黒川直頼関係文書寄託。
- ・昭和61年8月5日、明治37年卒業今泉茂松の卒

業証書および式次第書一点寄託。

△編集刊行作業△

○通史／資料

- ・昭和60年5月、「資料三」所収予定学位授与数調査開始。学務課および文部省大学課。
- ・昭和60年5月、「資料三」所収予定の評議員一覧編集のため、人事課記録掛調査（清水洋美氏と共に）。

・昭和60年6月、人事履歴カードの原案作成。

- ・昭和60年12月、「資料三」掲載のため国会図書館法令議会資料室にて東京帝国大学関係予算書を調査。

- ・昭和61年3月30日『東京大学百年史 通史三』4月30日『同 資料三』、3月6日『同 部局史一』納品。

○部局史連絡委員会

- ・昭和61年6月～7月、「東京大学百年史部局史一」、「同二」、「同三」連絡委員会開催。

○刊行記念会

- ・昭和60年4月12日、「通史一 資料一」刊行記念会開催於百年史編集室。
- ・昭和61年6月9日、東京大学百年史編集室刊行記念パーティー開催、於学士会館。

○各種委員会の開催

- ・百年史編集委員会 昭和61年3月7日
- ・百年史編集室会議 昭和60年4月12日
- ・百年史編集室専門委員会 昭和60年4月12日、7月8日、10月31日、12月20日。昭和61年1月13日、4月4日、5月12日、5月28日、10月6日（打合せ会）。

○百年史編集の残務処理

- ・昭和61年6月27日、通史・資料の正誤票作成、関係者に配布。
- ・昭和61年10月30日、『通史』一～三人の人名索引仮目録完成、担当野口貴代。
- ・昭和61年4月23日より5階旧執筆室および3階校訂室の移動開始。
- ・昭和61年5月22日、旧執筆室に書架20本据付完了。併せて倒壊防止用のパイプ設置も行われた。

△研究活動△

- 「東京大学史紀要」第六号の発行
- ・昭和62年3月、『東京大学史紀要』第6号を刊行。B5判一二三ページ。担当小川千代子。

○「東京大学百年史編集室通信」

- ・「学内広報」の紙面を借りて5号毎に、昭和60年1月より昭和62年2月までに14回、昭和50年より通算で74回掲載。

○各種史料の整理

- ・昭和61年7月、編集室所蔵の井上毅文書（原本 梧陰文庫）目録完成。担当米田俊彦。
- ・昭和61年7月より坪井九馬三文書整理再開。

○レファレンス・閲覧

- ・昭和60年7月から昭和61年11月末日までの問い合わせ（レファレンス）は合計57件、昭和55年9月以来合計133件。
- ・昭和60年7月から昭和61年11月末日までの史料閲覧来室者件数32件、昭和55年9月以来通算60件。

○見学

- ・昭和60年9月、名古屋大学史編集室、九州大学七十五年史編集部関係者来室。
- ・昭和61年5月、東洋大学百年史編集室員来室。
- ・昭和61年11月、国立公文書館館長菅野弘夫氏、同公文書課長小林蒼海氏来室。

- ・昭和61年10月、中央大学史編纂課長来室
- ・昭和61年11月、明治大学歴史編纂資料室及び専修大学年史資料課関係者来室

△その他▽

○大学図書館について

- ・昭和60年10月～11日、小川室員がSAA年次総会及びアーキビスト講習会に出席。併せてテキサス大学オースチン校バーカー歴史センター図書館およびカリフォルニア大学ロサンゼルス校大学図書館を訪問。

- ・昭和60年11月～昭和61年2月、「東京大学百年史編集史料保存に関する懇談会」計三回開催。
- ・昭和61年3月、森総長に同答申を提出。
- ・昭和61年6月24日、「史料保存委員会を考える会」開催。

- ・昭和61年7月、広報企画課長の依頼により「国立大学における年史編纂後の状況」につき調査。
- ・昭和61年10月、ミュンヘン大学図書館長、L・ベーム博士と明治大学で懇談。
- ・昭和61年11月、中央大学史編纂課、上智大学史料室見学。

○山上会館内展示

- ・昭和61年9月9日より、新築の山上会館内に百年史編集室関係展示開始。

○百年史編集室構成員 昭和61年11月現在

室長 寺崎 昌男（教育学部教授）
 専門委員 稲垣 栄三（工学部教授）

伊藤 隆（文学部教授）

益田 宗（史料編纂所教授）

護 雅夫（学外）

土田 直鎮（学外）

酒井 豊（青山学院大学助教授）

室員 中野 実（常勤）

小川千代子（常勤）

小熊 伸一（久里浜看護学校講師）

野口 貴代

西平 直（教育学研究科大学院

生）

編集後記

『東京大学史紀要』は創刊以来約9年で第6号まで刊行することができた。昭和53年に創刊したときには、東京大学史に関する研究成果を発表する場として大きな抱負をもって臨んだのであった。

今、『東京大学百年史』は全10巻の刊行を終ろうとしている。百年史編集室の業務もまた終了するのであって、まもなく百年史編集室は閉室されるはずである。昭和62年度は経過措置で「東京大学史史料室」として組織替えされるらしい。東京大学百年史の完了とともに私は定年を迎え、この紀要の編集とも縁が切れることになった。今後は史料室が本紀要の刊行を受け継ぎ、さらに将来の「大学アーカイヴズ」に結び付くよう願ってやまない。

（百年史編集委員会副委員長 稲垣栄三）